

第1章 圏域の概況

烏川は、群馬県倉淵村と長野県軽井沢町の県境に位置する鼻曲山^{はなまがりやま}に源を發し、北東へ流下した後、南東に進路を変え、榛名川、滑川、榛名白川^{なめかわ}を合流しながら榛名山麓を流下する。

その後、碓氷川、鐺川、井野川を合わせつつ高崎市街地を流下し、さらに神流川を合流して利根川に至る本川流路延長約62km、流域面積約1,800km²の一級河川である。

このうち烏川圏域は、利根川合流から19kmまでの国土交通省管理区間を除く烏川本川及び支川（碓氷川流域、鐺川流域、神流川流域を除く）の56河川、流路延長313km、流域面積422km²である。（表-1.1）

圏域の北部は榛名山の火山地形、西部は浅間隠山^{あさまかくしやま}、霧積山等、古期火山帯、そして東部は関東平野につながる前橋台地となっている。烏川の上流区間は新第三紀の山中を縫う渓流で深いV字谷を形成し、特に室田付近では両岸が屹立し曲流する景勝となっている。一方、中里見より下流の区間は段丘地形が発達している。

圏域の気候は、内陸性の気候であり積雪も少なく、年平均気温14℃と比較的温暖な内陸性の気候である。年間降水量は1,600mm前後であり、多雨である榛名山の南斜面が流域に含まれるため、県の平均降水量よりやや多くなっている。

烏川の上流域は自然が多く残されており、大型猛禽類の飛翔が確認されるなど生物の生育、生息場所として貴重な地域である。また、ブナ等の天然林が群生する^{つのおちやま}角落山が県の自然環境保全地域に指定されている。

土地利用は、上流域が森林で、県内有数の杉の造林地となっている。中流域は森林及び農地で、烏川沿岸の段丘面に梨及び桃の果樹園が広がっており、烏川沿いの低地では養鯉なども盛んに行われてきた。下流域は高崎市街地を形成し、水田、畑地のほか、宅地、商工業用地として高度に利用されている。また、沿川に生活圏がある倉淵村、榛名町、高崎市は、治水、利水に加えて、河川環境の面からも烏川と関わりが深く、下流域の高水敷は運動場、ゴルフ場と利用され、市民の憩いの場となっている。

烏川圏域を構成する市町村は、倉淵村、榛名町、箕郷町、群馬町、榛東村、高崎市、前橋市、玉村町の8市町村であるが、特に沿川に生活圏があり、密接な関係があるのは倉淵村、榛名町、箕郷町、群馬町、高崎市の5市町村である。この5市町村を合わせた人口は約323千人で、高崎市が約75%を占め、群馬町、榛名町、箕郷町、倉淵村の順である。近年の人口の推移は倉淵村が減少傾向にあるものの、他の市町は増加傾向にあり、流域全体としては増加傾向を示している。

当地域は、高崎市に代表される交通網の発達した都市機能と、北西部の山間地における緑豊かな自然環境を併せ持つ地域で、都市交流型農業への取り組み、温泉等の自然を利用した余暇活動の進展が図られることが予想される。

表 - 1 . 1 烏川圏域対象河川一覧表

	本川	1次支川	2次支川	3次支川	延長(km)
1	烏川				42.9
2		長井川			3.5
3		相間川			1.3
4		榛名川			9.9
5		宮戸川			1.9
6		滑川			4.9
7			堀の沢川		2.0
8			岩城川		3.0
9			中井川		1.2
10			沢田川		2.0
11		中島川			2.5
12		駒寄川			2.5
13		谷津川			5.7
14		高浜川			5.1
15			頭無川		4.5
16		小堀川			5.1
17			見立川		2.2
18		榛名白川			8.7
19			大沢川		7.0
20			車川		9.2
21				浦川	5.5
22		里見川			6.4
23			向井川		3.2
24				向井川放水路	0.4
25		天神川			1.6
26		藤川			3.2
27		井野川			26.3
28			天神川		4.0
29			大清水川		5.0
30			東谷川		2.6
31			早瀬川		6.2
32			唐沢川		10.1
33				猿府川	1.5
34			天王川		8.0
35			正観寺川		2.6
36			染谷川		17.4
37				牛池川	8.2
38				道木堀川	2.1
39			一貫堀川		6.7
40			一貫堀放水路		2.3
41			粕川		3.3
42		粕沢川			3.3
43		滝川			21.0
44			八幡川		9.6
45				蛇ヶ見川	3.2
46				天神川	2.6
47			滝川放水路		0.4
48			滝川第二放水路		0.3
49		新川			2.7
50		雁行川			5.7
51		衣沢川			3.0
52			中山川		1.7
53		中ツ沢川			0.9
54		金井沢川			2.0
55		井戸沢川			1.8
56		柳沢川			3.3

河川名の順番は、上流から下流に向かって烏川に合流する順である。